



2017年4月7日

BMWが京都市長の公務用車として、「BMW i3」を貸出

- 環境都市・京都と、サステイナビリティの実現を目指すBMW iが協力
- 国際的写真展「KYOTOGRAPHIE」期間をまたぐ5月末まで採用

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役社長: ペーター・クロンシュナーブル)は、同社がメイン・スポンサーとして協賛する「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2017」(会期: 2017年4月15日~5月14日)の開催にちなみ、電気自動車「BMW i3」を2017年5月末までの期間限定で、京都市に対し、門川大作市長の公務用車として貸出する。

BMWは、個人の移動の自由を恒久的に維持していくために、環境への影響を可能な限り抑えるサステイナビリティを重要な経営指標として掲げており、最先端の技術を用いた電気自動車により構成されるサブブランド「BMW i」を展開、日本市場でも一般に販売している。

KYOTOGRAPHIEが開催される京都市は、1997年に地球温暖化防止の推進を謳った京都議定書が採択され、世界の環境問題改革の起点となった都市であり、世界でも屈指の歴史豊かな町並みを保全している地域であることから、排出ガスをまったく放出せずに走行できる電気自動車であるBMW i3(94Ah レンジエクステンダー装備車)を市長公務用車として期間限定で導入することで京都市と合意。京都市庁舎前で実施された4月4日の車両引渡式では、クロンシュナーブル社長から門川市長にBMW i3が直接手渡された。

本年で5回目の開催となる KYOTOGRAPHIE は、日本および海外の重要な写真コレクションを、京都市内の美術館、ギャラリー、寺院や歴史的建造物といった特別な空間に展示し、伝統工芸職人や最先端テクノロジーとのコラボレーションも実現する国際的写真展である。今年からメイン・スポンサー契約を開始したBMWは、世界遺産・二条城内で開催される肖像写真の巨匠、アーノルド・ニューマンの没後日本で初めての回顧展をサポートする。BMW iは、BMW i3を用いた会場内巡回シャトルカーおよび無料レンタルプログラムを提供するほか、イタリアのアーティスト「TOILETPAPER」によるラッピングが施されたBMW i3も展示する。

「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2017」ウェブサイト:
<http://www.kyotographie.jp/>

BMW ウェブサイト KYOTOGRAPHIE 紹介ページ:
<http://www.bmw.co.jp/ja/event/2017/kyotographie.html>

BMW i3について

大都市圏向けのクルマとして専用設計された電動駆動モデルであり、「LifeDrive(ライフドライブ)」構造と呼ばれる革新的な車体の基本構造コンセプトを採用している。この LifeDrive

構造は、パワートレインなどを収めるシャシーの役割を果たすアルミニウム製「Drive Module（ドライブモジュール）」、および、乗員などが搭乗する基本骨格（パッセンジャー・セル）となる炭素繊維強化プラスチック（CFRP）製「Life Module（ライフモジュール）」により構成されている。ボディ剛性と乗員保護性能に優れている CFRP は高い強度を誇りながら、スチールより 50%、アルミより 30% 軽量である。これにより、バッテリーによる重量増を、革新的な CFRP とアルミのアーキテクチャーを用いることで相殺し、わずか 1,300 キロの車両重量を実現している。この新構造による軽量化と低重心化は卓越した運動性能にも大きく貢献している。これにより、BMW の特徴である 50:50 という理想的な重量配分と後輪駆動にもこだわる BMW i3 は、未来の駆けぬける歓びを提案する。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インターラクション・センター：フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。
受付時間：平日 9:00-19:00／土日祝 9:00-18:00
BMW インターネット・ウェブサイト：<http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは：
BMW Japan Corp. 広報室：03-6259-8025（企業広報）